令和５年度デジタル田園都市国家構想交付金事業評価シート

事業	「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション

①基本事項

事業タイプ	横展開タイプ	事業分野	しごと創生	実施期間	R3年度～R7年度

②事業概要

鳥取市による『サスティナビリティ×イノベーションで「農村から真の持続可能なまち」を実現する』提案が優れた内容と認められ、令和３年度SDGｓ未来都市に選定された。SDGs未来都市として目指すゴールへ向けて、市民、企業、団体等の多様なステークホルダーと連携・協働しながら、「生産性の高い次世代農業の育成支援」、「新たな電源供給モデルの実用化支援」、「新たなワーケーションプログラムの創出支援」など、具体的な施策を進める。

③令和５年度実施事業

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等 実施事業を含む予算中事業名
1	持続可能な農業経営に向けた取組み	**（1）リサイクル材活用支援補助金** 環境に優しく生産性の高い農林水産業を推進するため、地元リサイクル材を活用した農林水産業の実施に係る経費の一部を支援する。	●ホームページでの情報発信や、関心ある企業に対して制度紹介をしたが、実績は0件であった。	経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室 SDGｓ未来都市推進事業
		（2）自然エネルギーを活用したスマート農業実装支援補助金 再生可能エネルギー100%の電力を活用したスマート農業モデル（畜産農業を含む。）の事前調査及び実装に係る経費の一部を支援する。	●ホームページでの情報発信や、関心ある企業に対して制度紹介をしたが、実績は0件であった。紹介した企業の中には、令和6年度の活用を検討している企業がいるため、引き続き連携を取り、補助金活用に繋げる。	経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室 SDGｓ未来都市推進事業
2	都市部から地方への人材確保の取組	**（1）ワーケーションプログラム費開発支援補助金** 都市部等に在住する企業人材を対象とし、本市の施策に合致した本市ならではの環境や人材を生かしたワーケーションプログラムの開発に係る経費の一部を支援する。	●鳥取県外に本社のある企業から6社15名が参加した。本プログラム終了後も、プログラムの際に提案された事業が継続することになった。また、事業に引き続き関わっていく参加者もいるため、新たな関係人口の構築に繋がっている。（令和5年度実績1件、2,787千円）	経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室 SDGｓ未来都市推進事業

事業	「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等 実施事業を含む予算中事業名
2	都市部から地方への人材確保の取組	**（1）ワーケーションプログラム費開発支援補助金** 本市ならではの環境や人材を生かしたワーケーションプログラムを開発する事業を支援することにより、関係人口の増加を図る。	●県外企業と県内企業等に所属する若者（主に20～30代）を対象として、鳥取の未来について思考し共創する体験とつながりを育むワーケーションプログラムを実施。36名が参加し、関係人口の創出に繋がった。（令和5年度実績1件、補助金額770千円）	経済観光部 企業立地・支援課 関係人口推進事業費
		（2）とっとりワーケーションネットワーク協議会運営支援 鳥取市、鳥取県、鳥取商工会議所、麒麟のまち観光局や各ステークホルダーとともに2022年4月に設立した「とっとりワーケーションネットワーク協議会」の運営を支援する。	●とっとりワーケーションネットワーク協議会に対し、補助事業として運営支援を行った（補助率1/2、補助金額800千円）。 （協議会の主な事業） ・ワーケーション推進事業（ワンストップ窓口運営、会員が主催するモニターツアー・セミナー・勉強会への協力） ・情報発信事業（HP運営、HP・SNS・情報誌等を活用した情報発信等） ・会員間でのネットワーク構築（会員募集、意見交換）	経済観光部 企業立地・支援課 関係人口推進事業費
		（3）サテライトオフィス等誘致支援業務委託 都市圏等に所在する事務系企業とのオンラインマッチング業務を委託することにより、本市へのサテライトオフィス誘致を進める。	●本市への進出を検討いただける企業を調べるためのフォームマーケティングやテレマーケティングを行い、オンライン説明会及び本市視察の機会を積極的に作ることで、１社の誘致につながった。	経済観光部 企業立地・支援課 SDGｓ未来都市推進事業

事業	「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等 実施事業を含む予算中事業名
2	都市部から地方への人材確保の取組	**（4）地域資源を活用した地域活性化に資する事業支援** 市内企業・団体等と連携し、地域資源を活用して行う地域活性化に資する事業を支援することにより、関係人口の増加を図る。	●県外在住者が、鳥取砂丘や西郷工芸の郷等、本市の地域資源や地域の魅力に触れることができる事業を実施することにより、関係人口の創出に繋がった。 （令和5年度実績2件、補助金額計1,334千円）	経済観光部 企業立地・支援課 関係人口推進事業費
3	持続可能なカーボンフリー社会実現の取組み	**（1）エネルギー地産地消まちづくり実証研究会（仮）による実証事業支援** エネルギーの地産地消により生み出される電力の活用や、持続可能なまちづくりを形成されるために行う、市民サービスの向上に繋がる実証事業に係る経費の一部を支援する。	●ホームページでの情報発信や、関心ある企業に対して制度紹介をしたが、実績は0件であった。令和6年度の活用を検討している企業がいるため、引き続き連携を取り、補助金活用に繋げる。	経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室 SDGｓ未来都市推進事業
		（2）微生物発電実装事業支援補助金 市内農地（耕作放棄地を含む。）を活用した微生物発電の実装及び実装を支援するための経費の一部を支援する。	●年間を通しての屋外実証実験の記録を取ることで、屋内実験では分からなかった環境変動による影響などが明らかとなり、今後実装する上での重要な知見を得ることができた。 （令和5年度実績1件、1,734千円）	経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室 SDGｓ未来都市推進事業
4	1・2・3の取組効果を高める統合的な取組	**（1）SDGｓ未来都市プロジェクト推進協議会の運営** 各ステークホルダーを集めた連絡協議会を立ち上げ、SDGｓ未来都市プロジェクトの経済・社会・環境側面の取り組みの有機的な接続を図る。	●SDGs未来都市推進事務員を配置し、SNSを活用した情報発信を積極的に行った。 ●ステークホルダー連絡協議会を開催し、未来都市計画の進捗を共有し、各ステークホルダー同士が繋がる機会とすることができた。 （令和５年度開催実績：1回）	経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室 SDGｓ未来都市推進事業

事業	「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等 実施事業を含む予算中事業名
4	1・2・3の取組効果を高める統合的な取組	**（2）各種ツールを用いた情報発信、啓発セミナー等の開催** **（3）SDGｓ未来都市啓発用パンフレット印刷** **（4）情報発信用webページの更新・保守** SDGs未来都市啓発用パンフレットの作成、情報発信用Webページの更新・保守、情報発信用動画の作成を行う。 「SDGs」とは何か、「鳥取市SDGs未来都市」とはどんな取り組みか、啓発するためのセミナー等を開催する。	●SDGs未来都市パンフレット・ワーケーションガイドを更新し、啓発を行った。 ●本市の取組を周知するためSDGs未来都市特設サイトの運営・保守を行った。 ●未来都市計画環境面の取組を題材としたYouTubeショート動画を31本作成した。 ●地元企業を対象として、DXやGXの視点を踏まえた、SDGs経営の実践に向けたセミナーを２回開催した。 SDGs×DXセミナー：参加申込者数４９人 SDGs×GXセミナー：参加申込者数８７人	経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室 SDGｓ未来都市推進事業
		（5）ステークホルダーを含めた積極的な情報発信 SDGs未来都市のステークホルダーが行う、本市内の取組やイベント等について、県外企業や個人の誘客に繋がるプロモーション活動に係る経費の一部を支援する。	●ステークホルダー自らが県外企業へ広報を行い、未来都市計画の周知を図った。（令和5年度実績3件、1,364千円）	経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室 SDGｓ未来都市推進事業
		（6）啓発事業等の開催 「SDGs」や「SDGs未来都市」に関する取り組みについて市民や事業者に啓発するため、フォーラムやセミナーを開催する。 また、市内小学校や小学生を対象に、企業見学会や出前授業、ワークショップ等を開催し、SDGsに関する理解や関心を深め、省エネ活動等の推進につながる取り組みを展開する。	●脱炭素社会の推進について方法論を学ぶ座学と地域の最先端環境配慮型施設見学を行う「環境出前授業」を実施した。 参加校　：12校 参加人数：426人 ●家庭で日常的に省エネに取り組む「こども省エネチャレンジ」を実施した。 応募人数：176人 ●環境ワークショップ 開催回数：2回 参加人数：96人 ●市民・事業者・行政のそれぞれが実践できる地球温暖化対策について学ぶ、社会人向け「環境・エネルギーセミナー」を開催した。 参加人数：84人	市民生活部環境局 生活環境課 環境教育推進費

事業	「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション

④事業費について

総事業費		20,281,619	円
財源内訳	地方創生推進交付金（国補助金）	10,140,809	円
	その他の特定財源	0	円
	一般財源	10,140,810	円

⑤重要業績評価指標（KPI）

指標1

指標名	鳥取市SDGｓ未来都市の構想に基づいた事業への参画企業数（社／年度）					
関連する事業番号	1・3・4	担当部（局）・課等	経済観光部　経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室			
	基準値 R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
目標値	ー	15	37	62		
実績値	0	15	20	49		
達成率		100.0%	54.1%	79.0%		

指標2

指標名	再生可能エネルギーを活用した農産物出荷額（千円／年度）					
関連する事業番号	1	担当部（局）・課等	経済観光部　経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室			
	基準値 R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
目標値	ー	500	800	1,300		
実績値	0	4,680	15,327	21,801		
達成率		936.0%	1915.9%	1677.0%		

指標3

指標名	ワーケーションをきっかけとした移住相談者数（人／年度）					
関連する事業番号	2	担当部（局）・課等	経済観光部 企業立地・支援課			
	基準値 R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
目標値	ー	0	15	25		
実績値	0	0	0	0		
達成率		-	0.0%	0.0%		

事業	「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション

内部評価	内部評価基準 **①地方創生に非常に効果的であった** 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合 **②地方創生に相当程度効果があった** 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合 **③地方創生に効果があった** KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組みが前進・改善したとみなせる場合 **④地方創生に対して効果がなかった** KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合 **⑤評価対象外** 事業を実施しなかった場合
③	

⑥今後の方針について	
事業番号１	持続可能な農業経営に向けた取組として、環境に優しいスマート農業の実践モデルを市内に増やすため、農業参入を希望される企業とのマッチング活動を引き続き進めていく。また、スマート農業誘致に関する広告掲載やSNSを活用した情報発信などを積極的に行うことで、関心ある県外企業への周知を図る。
事業番号２	都市部から地方への人材確保の取組を進めていくため、本市SDGs未来都市のステークホルダーと連携しながら、中長期にわたるワーケーションプログラムの実施に向けた調整を引き続き行う。本市の地域課題に触れる機会を作り、本市に魅力を感じていただける方を増やすことで、プログラム終了後も参加者と継続的に交流できる関係性を築いていく。 また、都市圏企業による地方進出のきっかけづくりのため、引き続き「とっとりワーケーションネットワーク協議会」の運営を支援し、市内を舞台にしたワーケーションを実施する。また各種ワーケーション事業の実施に当たっては、関係人口創出に関する知見のある市内事業者等と連携することにより、都市部の人材のニーズに即した内容となるよう事業を進めていく。
事業番号３	今後、耐用年数を迎えた太陽光発電パネルの大量廃棄が想定されている。この問題を解決するため、パネルのリサイクルを推進するだけでなく、パネルのリサイクル材を活用した事業に対して支援を行う。また、脱炭素先行地域の取組との連携を図り、より効果の高いカーボンフリーなまちづくりを引き続き進めていく。
事業番号４	SDGs未来都市に関する事業について、効果を高める統合的な取組として、SDGs未来都市計画に関する既存動画の構成を見直し、ブラッシュアップを図る。また、リスティング広告やYouTube等への広告掲載を行い、SDGs未来都市特設webサイトへ誘導することで、本市の取組に関心を持つ企業の参画を促す。 啓発等については、環境問題の解決に向けた正しい知識を習得し、日常生活においてECOを意識し実践できる「人づくり」を目指し、参加者の年齢・属性等に配慮した様々なセミナーやワークショップ等の啓発事業を実施していく。

事業	「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション

⑦総合企画委員評価（外部評価）

外部評価	外部評価基準
③	①KPI達成に有効であった ②KPI達成にある程度有効であった ③KPI達成にあまり有効とは言えない ④KPI達成に有効とは言えない

意見等No.	事業番号	ご意見・ご質問等の内容	担当課回答	担当課
1	1	県外での情報発信に加え、県内企業の参入・参画を促すような取り組みはできないか。	企業による農業参入の取組は、県外企業だけでなく、県内企業も対象としており、情報発信だけでなく、個別の企業訪問等による啓発も行っています。 今後も、県内企業での参入・参画が増えていくよう、積極的な啓発活動を続けていきます。	経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室
2	1	他県でのスマート農業事業の成功例等を用いての周知が必要なのでは	本市が紹介している、温泉熱を活用したスマート農業の経営モデルは企業からの関心も高く、多くの方が視察に訪れています。 他県でのスマート農業の成功例に関しても、農業参入に効果がある事例については積極的に紹介していきたいと考えています。	経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室
3	1	再生エネルギー100%の電力活用した農産物は具体的に何か。また、その普及は可能か。達成率が100%を超えるのは計画値がどうであったか。	株式会社メイワファームHYBRIDが生産する「いちご」が、KPI達成に寄与しました。再生エネルギー100%の電力活用は他企業でも実現できるため、他の品目でも普及可能であると考えています。 計画値の策定時点は、当社が電力活用する事が想定できなかったため、当社の電力活用が、結果的にKPI達成に大きな影響を受けてしまったものです。	経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室
4	3	再エネを太陽光発電に頼ると、どうしてもパネル廃棄の問題が避けられない。	2030年代後半以降、使用済み太陽光パネルの排出量が大幅に増大すると想定され、パネル大量廃棄の問題は避けられないものとなっています。この問題の解決のため、パネルリサイクル材を活用した事業を手掛ける事業者に対して支援を行いビジネスベースで循環できる仕組みづくりを進めています。リサイクルによって生み出される素材の活用事例を増やしていき、将来起こり得る太陽光発電パネルの大量廃棄問題の解決を目指します。	経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室

事業	「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション

意見等No.	事業番号	ご意見・ご質問等の内容	担当課回答	担当課
5	4	「未来都市」がどういうものかあまりピンとこない。啓発活動も必要なのかわからない。	SDGs未来都市は、自治体によるSDGsに資する取組が秀逸で、他の自治体の規範になると内閣府が選定した都市のことです。 SDGs未来都市に選定されることで本市の知名度が向上し、他の企業や団体が本市での事業活動を開始するきっかけになるため、啓発活動を継続していく事で、本市の地域経済の活性化に繋げていきたいと考えています。	経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室
6	1～4	実績「0」件の事業もあり、全体的に各年度の事業検証を十分に実施し、PDCAを廻すことで実行性を高める必要があると思います。	現在行っている事業検証に関しては、国に対し、本市SDGs未来都市の進捗状況を各年度で報告し、達成度を明確にすることとしています。進捗状況をもとに「自治体ＳＤＧｓ推進評価・調査検討会」が開催され、有識者からフィードバックをいただいています。実績「0」件の事業に関しては、効果が無いと思われるものは大きく見直しを図り、企業から関心をいただいているものに関しては、定期的な意見交換を行い、補助制度の活用を促します。	経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室